報道発表

令和５年９月21日
名古屋税関
中部空港税関支署

令和５年８月分　中部空港　貿易概況（速報）の要旨

令和５年８月分について、輸出は「電気計測機器」、「自動車の部分品」などが増加したものの、「半導体等電子部品」、「重電機器」、「ポンプ及び遠心分離機」などが減少したことから対前年同月比13.9%の減少となった。　また、輸入は「有機化合物」「通信機」などが減少したものの、「医薬品」、「半導体等電子部品」、「原動機」などが増加したことから、同 2.8%の増加となった。
その結果、差引額は８億円の輸出超過となった。

区　分	輸　出　額	伸　率	輸　入　額	伸　率	差　引　額（▲は輸入超過）	伸　率
中部空港	874億円	▲13.9%	865億円	＋2.8%	8億円	▲95.2%
	8ヵ月連続の減少		3ヵ月連続の増加			

			概　況　品　名	金　額	伸　率				概　況　品　名	金　額	伸　率
輸出	増加品目	（１）	電気計測機器	73億円	＋19.8%	輸入	増加品目	（１）	医薬品	117億円	＋95.4%
		（２）	自動車の部分品	32億円	＋34.3%			（２）	半導体等電子部品	148億円	＋30.7%
		（３）	原動機	45億円	＋12.8%			（３）	原動機	171億円	＋8.7%
	減少品目	（１）	半導体等電子部品	121億円	▲32.9%		減少品目	（１）	有機化合物	17億円	▲67.9%
		（２）	重電機器	21億円	▲50.6%			（２）	通信機	12億円	▲48.4%
		（３）	ポンプ及び遠心分離機	8億円	▲60.4%			（３）	重電機器	10億円	▲51.0%
	主要地域増減		アジア、アメリカが減少、EUは増加				主要地域増減		EU、アジア、アメリカが増加		

（参考）ドルレートは、１４２．２３円（前年同月比５．３%、７．１５円の円安）であった。
（注）　月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。